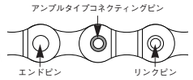
安全のために必ずお守りください。

⚠ 警告

- ST-M580/ST-M585デュアルコントロールレバーは変速操作とブレーキ操作を同じレバーで行います。ご自身の自転車のブレーキ操作と変速操作を十分理解し、慣れるようにしてください。操作方法はイラストをご参照ください。
- ブレーキ操作は必ずデュアルコントロールレバーで行ってください。補助リリースレバーでブレーキ操作を行うとレバーが破損して自転車のコントロールを失い、事故の恐れがあります。
- デュアルコントロールレバーの内部ユニットが破損した場合、レバーが通常のレバー位置から下がり、ブレーキ操作がし難い位置にくる場合があります。その場合は速やかに走行を止めてください。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- チェーンの洗浄には中性の洗浄液を使用してください。サビ落し等のアルカリ性あるいは酸性の洗浄液を使用するとチェーンにダメージを与え、チェーン切れを起こす場合があります。
- ナロータイプチェーンは必ずアンプルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンプルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。アンプルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンプルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと充分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンプルタイプコネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパーナローチェーン	6.5mm シルバー	TL-CN32 / TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の様な8、7、6段対応 ナローチェーン	7.1mm ブラック	TL-CN32 / TL-CN27



- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンプルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所で切断してください。アンプルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所で切るとチェーンを損傷します。
- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷があった場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- CN-7701、CN-HG93、CN-HG73シマノ製チェーンには9段用チェーンに対応するフロントチェーンホイールを使用してください。8段用あるいはそれ以下の段数に対応するフロントチェーンホイールに使用された場合、フロントチェーンホイールの変速不良やチェーンのピン抜けによるチェーン切れの原因になる恐れがあります。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。**
  その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して怪我をする場合があります。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。**
  調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して怪我をする場合があります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- 定期的に変速機を洗浄し可動部（メカニズム部及びプーリー部）に注油してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。
- プーリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がうるさくなった場合は、プーリーを交換してください。
- 車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- 逆スプリングタイプ後変速機RD-M580はロー側より調整してください。
- インナーケーブル内蔵式フレームでは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいため、ご使用できません。
- ギアは必ず同じグループ刻印のセットで使用し、別グループ刻印のギア板を組み合わせて使用しないでください。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- 変速ケーブルとブレーキケーブルがブレーキ操作時においてもお互いに干渉しないようにしてください。
  干渉しているとブレーキ操作に支障をきたします。
  ケーブルはハンドルをいっぱいに操舵しても余裕がある長さにセットしてください。

- 変速ケーブル（SIS-SP41）には専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- 円滑な操作のため、SIS-SPシールドケーブル、B.B.ガイドをご使用ください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- オイルディスクブレーキのブレーキ液の種類によってはブレーキ液が変速レバーの樹脂部分に付着した場合、樹脂部分に亀裂が入ったり変色する可能性がありますので、ブレーキ液が付着しないようにしてください。
  シマノディスクブレーキに使用されている鉱物油は樹脂部分に付着した場合に亀裂、変色の恐れはありませんが、ゴミ等の付着を予防する為にアルコールで洗浄してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-6JXRB-001

リアドライブシステム

機能を充分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	LX
デュアルコントロールレバー	ST-M580 / ST-M585
アウターケーブル	SIS-SP41
リアディレイラー	RD-M580
タイプ	SGS / GS
フリーハブ	FH-M580 / FH-M585
スピード	9段
カセットスプロケット	CS-M580
チェーン	CN-HG73
B.B.ガイド	SM-SP17 / SM-BT17

仕様

リアディレイラー

モデルナンバー	RD-M580	
タイプ	SGS	GS
スピード	9段	
トータルキャパシティー	45T	33T
リア最大ギア	34T	34T
リア最小ギア	11T	11T
フロント歯数差	22T	22T

カセットスプロケット歯数構成

モデルナンバー	グループ名	スピード	歯数構成
CS-M580	ar	9段	11、12、14、16、18、21、24、28、32T
	au	9段	11、13、15、17、20、23、26、30、34T

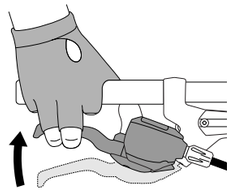
フリーハブ

モデルナンバー	FH-M580 / FH-M585
スピード	9段
スポーク穴数	36 / 32

この説明書ではST-M580 / M585デュアルコントロールレバーを逆スプリングタイプの後変速機RD-M580と組み合わせた場合の操作方法を説明しています。トップノーマル仕様の変速機RD-M571と組み合わせた場合は変速操作およびインジケーター表示は反対になります。

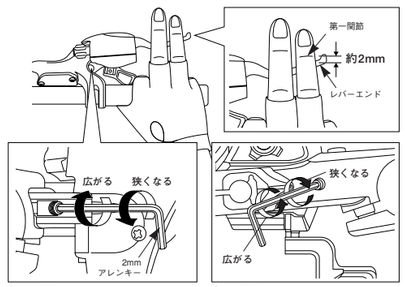
レバーの操作方法

■ ブレーキの操作方法



握り幅調整

変速操作、ブレーキ操作をより快適にするために図のようにレバーの握り幅を調整することをお勧めします。



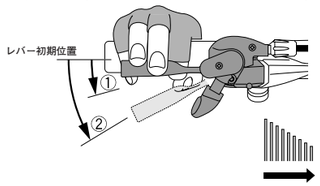
ST-M585　ST-M580

■ 変速操作方法

レバーは変速完了後、指を離すと必ずレバー初期位置に戻るようになっています。レバー操作する時は必ずクランクを廻しながら行ってください。

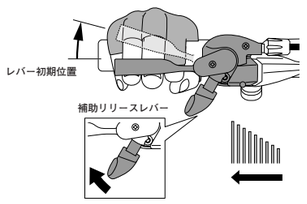
大ギアから小ギアへの変速

1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。最大2段分の一気変速まで可能です。



小ギアから大ギアへの変速

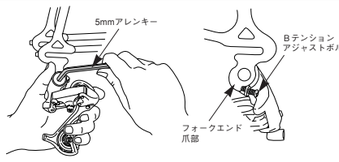
1回操作して離すと、小ギアから大ギアへ1段変速します。



リアディレイラーの取付け

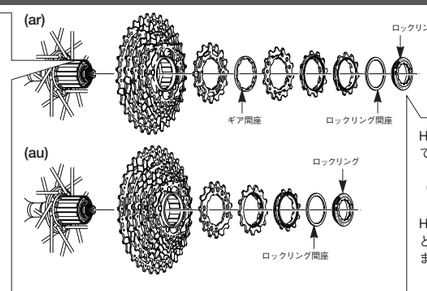
取付けの際、Bテンションアジャストボルトがフォークエンド爪部に当たって変形しないようにご注意ください。
この時、プロセットアライメントブロックをはずさないでください。

ブラケット軸締め付けトルク:
8 - 10 N·m {80 - 100 kgf·cm}



ギアの取付け

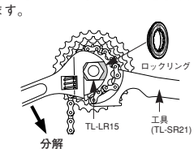
各ギアとも刻印のある面をトップ側にし、フリーホイール部のA部（溝幅が広いところ）と各ギアの幅広部を合わせてセットします。



HGギアの取付けは専用工具(TL-LR15)でロックリングを締め付けます。

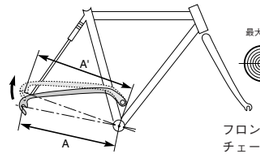
締め付けトルク：
30 - 50 N·m {300 - 500 kgf·cm}

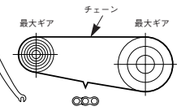
HGギアの交換は専用工具（TL-LR15）とTL-SR21でロックリングを取り外します。



リアサスペンション付き自転車におけるチェーンの長さ

リアサスペンションが可動することにより、A寸法が変化します。このためチェーン長さが不足していると、駆動関係に異常な力が加わることがあります。
チェーン長さは、リアサスペンションが可動してA寸法が最長に伸びたところで、チェーンを前後最大ギアに掛け、2リンク加えた長さに設定してください。リアサスペンションの可動量が大きい場合、フロント最小ギアとリアのトップ側ギアでチェーンの緩みが取れないことがあります。



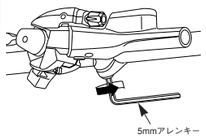


フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。

レバー部の取付け

ハンドルグリップは最大外径が φ32mm以下のものをご使用ください。

締め付けトルク:
6 - 8 N·m {60 - 80 kgf·cm}



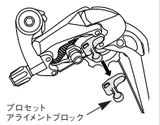
カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷を防ぐために締め過ぎないようにご注意ください。
適切なトルク値に関しては完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

SISの調整

チェーンの取付け

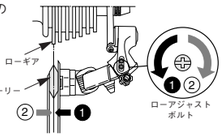
プロセットアライメントブロックをつけた状態でチェーンを取付けてください。取付け後プロセットアライメントブロックをはずしてください。

クランクをまわして、変速機をロー位置にセットしてください。



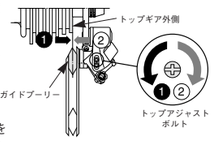
1. ロー側の調整

ガイドプーリーがローギアの真下にくるようにローアジャストボルトを回して調整してください。



2. トップ側の調整

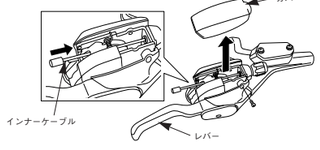
クランクを回しながら変速機を手でひっぱりトップ側に移動させ、後方から見て、ガイドプーリーがトップギアの外側の線の上にくるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。
クランクをまわして、変速機をロー位置にセットしてください。



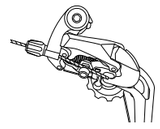
3. インナーケーブルの取付と固定

レバーを8回以上操作して、レバー位置がローの位置にセットされているのをインジケーターで確認します。カバーを取り外し、ケーブルを取付けます。

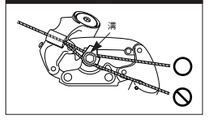
締め付けトルク:
5 - 7 N·m {50 - 70 kgf·cm}



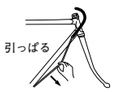
図のようにインナーケーブルを変速機に取付けてください。



注意: インナーケーブルは必ず溝に添わせて固定してください。



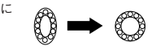
インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおしてください。



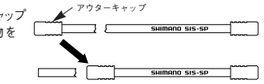
締め付けトルク:
5 - 7 N·m {50 - 70 kgf·cm}

アウターケーブルの切断

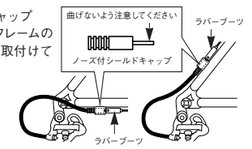
アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。



アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。

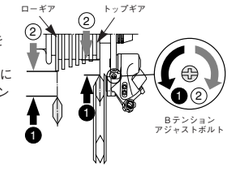


ノーズ付シールドキャップ及びラバーブーツはフレームのアウターストッパーに取付けてください。



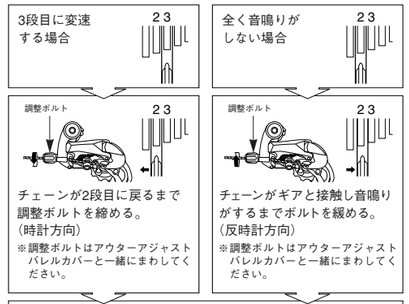
4. Bテンションアジャストボルトの調整

チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、クランクを逆に回します。チェーンづまりしない位置までガイドプーリーがギアに近づくようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンづまりがしないことを確認してください。



5. SISの調整

クランクを廻しながらレバーを操作して変速機をローギア位置にします。レバーを1回操作してリアギアを2段目に変速させます。その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを廻してください。



ベストセッティング

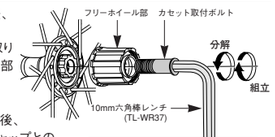
レバーを操作しない状態で音鳴りがするまで調整ボルトを締め（時計方向）次にその時点より調整ボルトを90～180度緩める（反時計方向）

レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

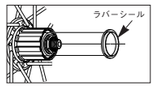
SISの機能を充分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

フリーホイール部の交換

ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のカセット取付ボルトを取り外し、フリーホイール部を交換してください。



ラバーシールは軸組み後、最後に取付け、防水キャップとのかみこみに注意してください。



締め付けトルク：
35 - 50 N·m {350 - 500 kgf·cm}

ご注意：フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

この取扱い説明書は、再生紙を使用しています。
製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。
お客様相談窓口
☎0570-031961
株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577